

平成30年度

事業報告及び決算報告書

平成30年度 横浜市港北区社会福祉協議会 事業報告

■ 基本方針

平成29年度に全面施行された改正社会福祉法を受け、組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の確保に努めました。また、社会福祉法人・施設の地域貢献事業への取組支援と同時に、地域の福祉課題・生活課題に即した地域支援への取組みを進めました。

「地域における子どもの居場所づくりサポートモデル事業」はモデル指定2年目の最終年度でしたが、居場所に関わる啓発や相談、地域活動の立ち上げ支援などを通してネットワークの強化に努めきました。活動から見えてきた新たな課題を今後につなげていきます。

生活支援体制整備事業は3年目を迎える、2層の生活支援コーディネーター（地域ケアプラザ）と1層の生活支援コーディネーター（区社協）とともに取り組んできたアセスメント結果に基づき地区支援を進めてきました。

また、第3期港北区地域福祉保健計画「ひとつプラン港北」は3年目を迎える、中間年としてこれまでの実践の振りりと今後の取組を検討するため区民向け調査を行いました。具体的な地域課題の解決に向けて区計画の推進と地区計画推進への支援を今後も進めていきます。

本会がこれまで取り組んできた地域支援と個別支援の融合を目指した身近事業の取り組みや多くのみなさまからなる会員組織としてのネットワークを活かし、地域ケアプラザや行政と連携し、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支えあいながら自分らしく活躍できる「地域共生社会」を目指し、「誰もが安心して健やかに暮らせるまち港北」の実現に向けて取組みました。

■ 平成30年度 重点事業

1 社会福祉法改正への対応

- ・社会福祉法の改正後2年目を迎える、法人運営のガバナンス強化への対応と、公共性の高い組織として事業運営の透明性に努めました。
- ・社会福祉法人・施設との連携・協働を一層推進し、地域とのつなぎ・連携、生活支援体制整備事業への展開を意識し、地域における公益的な取組や地域課題の解決に向けて取組みました。

2 地域における子どもの居場所づくりサポートモデル事業の推進

- ・前年度に取り組んだ地域活動の把握と地域での活動の立ち上げ支援をもとに、活動への支援とネットワークをさらに強化することを意識し取り組みました。
- ・食の支援の取組をさらに強化し、食材確保のシステム化（フードドライブの展開、フードバンクとの連携 等）に取組みました。

3 生活支援体制整備事業の推進(地域ケアプラザとの一体的地域支援)

- ・生活支援体制整備事業においては、2層コーディネーターとともに取り組んできたアセスメント結果に基づき、担い手育成や居場所づくり検討など具体的な地区支援を意識し取組みました。
- ・ケアカンファレンス、地域ケア会議への参画により、区社協の地域支援における役割・機能を具体化してきました。そのために、職員会議等を活用して各地区のケアカンファレンス等の情報共有と区社協のかかわり方などの検討を行い、職員の地域支援のスキルの向上に努めました。

4 地区社協活動・小地域活動の支援

- ・一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくりをめざした地区社協活動の一層の推進のため『地区社協の手引き』の周知をしました。地区社協の中間支援組織の役割の整理と活動の推進を図り、地区活動・小地域活動の支援を強化してきました。
- ・身近な住民同士の支えあいの活動をさらに進展させるための地域の拠点確保のため、新たに設けた港北区みんなの助成金「居場所区分」が有効活用できるよう周知並びに支援を行いました。

5 ボランティアセンター機能の充実

- ・ボランティアセンターが、区内のボランティアコーディネート機能の中核としての役割が果たせるよう、支えあい型ボランティア活動の連絡会や地域ケアプラザとの連携に努めました。
- ・災害発生時に災害ボランティアセンターが速やかに機能できるよう、体制整備や関係団体との連携に努めました。また、横浜市災害ボランティア支援センターや近隣区の災害ボランティアセンターとの連携し取組みました。

6 第3期港北区地域福祉保健計画の推進

- ・第3期計画の3年目を迎える、区域計画における社協の取組(地区活動・活動団体支援、担い手育成、ネットワーク促進等)を進めました。また、サポートスタッフとして、地域の掲げる目標に近づけるよう地区計画の推進支援をしました。
- ・中間年として、これまでの取組みの振り返りと次期計画策定の検討資料とするため「区民アンケート」を実施しました。これを受けて評価方法と次期計画策定準備に向けた検討を行います。

上記の重点事業を具体的に進めるために「I 福祉啓発」「II 個人の自立支援」「III 地域の福祉力の向上」「IV ボランティア活動の推進」「V 信頼される組織運営」の5本柱で本会事業を進めました。

I 福祉啓発

1 ITを活用した情報の発信

＜中期計画 5-1＞＜ひとつ とどく-1＞

本会の事業や役割、活動について広く周知を図るとともに、必要な情報が必要な人へ届くよう、ホームページやメールマガジン等のITツールを活用し情報を発信しました。

(1)ホームページ

内容更新を随時行い、地区社協の活動、ボランティア募集情報や講座等の情報を発信しました。さらに、活動や事業等に関するお問い合わせの電子メール受付を行いました。

(2)アクセシビリティ

高齢者や障害者なども含めたあらゆる人が、利用しやすいように見直しを行っています。

【本会ホームページアドレス】 <http://www.kouhoku-shakyo.jp/>

【お問合せ電子メールアドレス】 info@kouhoku-shakyo.jp

・ホームページ アクセス件数 45,679件

2 広報紙「ふくしのまど」「こうほく区社協だより」等の発行

＜中期計画 5-1＞＜ひとつ とどく-1＞

地域の福祉活動・区社協事業・ボランティアセンター情報を定期的に発信していくため、地域新聞の活用、広報紙「ふくしのまど」の発行、本会独自の広報紙「こうほく区社協だより」を発行しました。地域の方にとって、身近な区社協になるよう、わかりやすい内容とし周知しました。

(1)「ふくしのまど」の発行

発行:5月・7月・10月・2月

発行部数:67,500部／回

※地域新聞の配付エリア外の地区については増刷し、区社協から送付しました。

配布先 : 地域新聞折り込み、福祉保健活動拠点・区内地域ケアプラザ・地区センター・区民活動支援センター等での配架

(2)「こうほく区社協だより」の発行

発行:11月

発行部数:3,000部

配布先 : 福祉保健活動拠点・区内地域ケアプラザ・地区センター・区民活動支援センター等での配布

3 港北「ほくほくフェスタ」社会福祉大会の開催

<中期計画 5-1><ひとつ とどく-1 つながる-1、-2>

福祉活動功労者の表彰並びに港北区と共に開催の区民フォーラム等を通じて、区内における地域福祉の発展に寄与することを目的として開催しました。開催にあたっては、各種福祉保健活動団体の協力を得て開催しました。

(1) 開催日時

平成 30 年 11 月 2 日 (金) 10:00~16:00

(2) 開催場所

港北公会堂および区役所中庭

(3) 開催内容

- ①第 36 回港北区社会福祉大会(福祉活動功労者の顕彰)
- ②区民フォーラム(第3期港北区地域福祉保健計画「ひとつプラン港北」の啓発)
テーマ:「知つてもらえた心強い“障がいのこと”」
- ③ボランティアの広場(区ボランティア連絡会による模擬店・バザー)
- ④港北区社協各分科会活動パネル展示
- ⑤社会を明るくする運動実施委員会標語コンクール優秀作品展示
- ※前日 1 日 16:45~19:30 も公開
- ⑥フードドライブ(実績:9名、40点)

(4) 参加者 約 480 名

4 子育て応援情報サイト、情報地図「ココマップ」による情報提供

<中期計画 5-1><ひとつ とどく-1>

NPO 法人びーのびーのと協働し、港北区内の子育て支援に関する情報を一元的に情報マップ(紙版)、ホームページを通じて提供しました。地域住民である編集委員からの情報を掲載し、常に新しい情報が閲覧できるように更新しました。

- (1) ブログを通じたタイムリーな情報提供(ホームページ)
- (2) 子育て応援マップ「ココマップ」改訂版の作成と配布
- (3) 編集委員会の開催:全 12 回

【ホームページアドレス】<http://www.kouhoku-shakyo.jp/>

・ホームページ アクセス件数 248, 591 件

Ⅱ 個人の自立支援

1 港北区社協あんしんセンター事業の実施

<中期計画 2-1、2-3><ひとつ とどく-1、2>

高齢者や障害者などの自立生活を支援するため、新規相談者への相談の充実を図ると共に、権利擁護の普及・啓発を行い、利用者に対するきめ細やかなサービス提供を行いました。

社会福祉士分科会や港北区事業所連絡会「ガンバ港北」に参画しました。また、市民後見人の養成と活動支援を図るため、成年後見サポートネット事務局として全体会、分科会を開催し、権利擁護のネットワーク充実を図りました。

成年後見サポートネット参画の行政書士と連携した無料相談会の開催や民生委員の定例会等、あんしんセンター出張説明会等での事業説明を通して制度を周知し、必要な人にサービスが届くよう利用者増に向けて取組みました。

(1)利用対象

- ①概ね 65 歳以上の高齢者 ②成年で障害のある方(身体・知的・精神)

(2)サービス内容

- ①総合相談 ②金銭管理・定期訪問 ③預金通帳など財産関係書類の預かり

(3)関係機関との連携

- ①成年後見サポートネット 全体会・分科会の開催
- ②地域包括支援センター連絡会社会福祉士分科会への参画
- ③港北区事業所連絡会「ガンバ港北」への役員参画
- ④民生委員児童委員への制度周知

(4)利用者増に向けた取組み

- ①区役所・地域ケアプラザとともにコスモス成年後見サポートセンター県支部横浜東地区行政書士との巡回無料相談会の開催（12月1日）
- ②パンフレットや事例集を使用した関係機関への制度の広報・周知

・初回相談件数:51 件 ・契約件数:47 件 ・新規契約件数:19 件

2 要援護者移送サービス事業の実施

<中期計画 5-7><ひとつ ひろがる-1、とどく-1>

公共の交通機関の利用や家族等による送迎が困難な高齢者及び障害者に対して移送サービスを行うことにより、日常の外出支援を行いました。また、利用者の状況確認や情報共有・技術向上などを目的に運転ボランティア定例会を開催し支援者の質の向上に努めました。

・利用登録者:46 名(利用実績:延べ 886 件)

・運転ボランティア会議:年6回

3 障害児・者のための外出相談室「おでかけ GO!」の実施

<中期計画 5-6><ひっと ひろがる-1、つながる-2、とどく-1>

障害児・者の移動を支援する情報・相談の拠点として、移動手段の情報など、的確な情報を提供しました。また、相談内容を分析することにより、移動に関する課題を明らかにし、その課題解決に取組みました。

(1) 相談窓口の強化

- ①窓口担当者会議(年 12 回)
- ②相談機関として事業周知(通年)
- ③支援機関との連携(通年)
 - ・相談件数:190 件

(2) 移動支援者の連絡会の実施

- ①関係機関との情報共有と地域のネットワーク作りに取組みました。
自立支援協議会への参画、地域福祉保健計画との連動
- ②ヘルパー事業所や介護タクシー事業所等との連絡会を開催しました。(年4回)
 - ア)「介護事業所連絡会」
 - ・6月 21 日 参加者:42 名(事業所 33 社) ・12月 3 日 参加者:16 名(事業所 10 社)
 - イ)「放課後等デイサービス事業所連絡会」
 - ・10月 5 日 参加者:34 名(事業所 20 社)、・1月 30 日 参加者:28 名(事業所 20 社)

(3) 地域への啓発

- ①障害理解や担い手発掘を目的とし研修を実施しました。(年2回)
 - ・講演会「特別支援学校の児童・生徒の暮らしを知ろう(特別支援学校の保護者の講演会)」
(7月 18 日) 参加者:30 名
 - ・講演会「ガイドヘルパー利用者さんに聞いてみよう(当事者の方をゲストスピーカーとした講演会)」(1月 23 日) 参加者:60 名
- ②地域で活動しているガイドボランティアとの座談会を開催しました。
 - ・ガイドボランティアフォローアップ座談会(10月 15 日) 参加者:10 名
- ③ニーズが多い通学・通所送迎に関して地域と協力し、ボランティア育成を進めました。(年3回)
 - ・「ガイドボランティア講座(市域)」(12月 18 日) 参加者:9 名
 - ・「障がい児お出かけサポート講演会(城郷小机地区)」(1月 19 日) 参加者:32 名
 - ・「障がいのある子のための通学の応援してみませんか(日吉地区)」(2月 19 日) 参加者:13 名

(4) 横浜市ガイドボランティア事業の実施

①障害児・者や難病患者が外出するときに付添うボランティアの登録や活動に応じた奨励金の支払いなどの業務を行いました。

・年間取扱件数:1,429 件

4 障害者余暇支援事業の実施

<中期計画 3-7><ひつと ひろがる-1>

「港北なつとも(港北区学齢障害児支援事業)」にて余暇プログラムを通じて、障害児の生活圏の拡大を図るとともに、障害の有無を超えた仲間作りを実施しました。

「港北なつとも」では、活動資金の助成を行い、実行委員の一員として活動の目的や方針、内容などについて関係機関と協議を行いながら進めました。

・実行委員会:年2回 ・作業部会:年5回 ・参加者:当事者 26 名 ボランティア 42 名

5 生活福祉資金貸付事業の実施

<中期計画 1-5, 5-8><ひつと とどく-2>

低所得世帯、障害者や日常生活上療養又は介護を必要とする高齢者のいる世帯などに対して、資金の貸付と必要な援助を行うことによって、その世帯の生活の安定と経済的自立を支援しました。

必要な世帯に支援が届くように、円滑に事務を進めるとともに、生活困窮者自立支援制度の所管との連携に努めました。

また、相談者の状況に応じて必要な制度の提供や相談支援を実施するため、相談員の研修を実施するとともに区役所やハローワーク等との連携に努めました。

①相談支援 ・相談件数:33 件 (延べ問合せ件数:1,942 件)

②新規貸付件数 ・生活福祉資金:2件 ・教育支援資金:25 件 ・総合支援資金:0件
・不動産担保型生活資金:1件 ・緊急小口貸付資金:5件 ・食支援:55 件

6 各種ネットワークへ参画

地域福祉に関する様々な支援機関、団体のネットワークに参画し協働しながら専門機関としての支援体制を構築していきました。社協の役割としての支援を活かし、個別支援課題から地域支援課題の抽出に努めました。

(1)各種連絡会、ネットワーク会議

- ①港北区地域自立支援協議会
- ②港北区地域作業所連絡会
- ③こうほく高次脳機能ネットワーク
- ④港北区事業所連絡会「ガンバ港北」
- ⑤港北成年後見サポートネット
- ⑥港北区地域包括支援センター連絡会 社会福祉士分科会
- ⑦港北区認知症及び高齢者虐待防止連絡会

III 地域の福祉力の向上

1 「ひっとプラン港北」の推進【重点】

<中期計画 1-4><ひっとプラン>

「ひっとプラン港北」は「誰もが自分らしく安心して暮らせるまち」を目指し、地域住民と関係団体、行政等が連携して地域の福祉課題の解決に取組み、助けあいや支えあいのある地域づくりを進めるための計画として、第3期3年目を迎えました。区計画と地区ごとの計画を区役所と区社協が共同事務局として策定し、区役所と連携を図りながら計画の周知・地区同士の交流を図り推進に努めました。

(1) 平成30年度の重点テーマ

「人材の確保」「障害の理解」

(2) 推進体制

①ひっとプラン推進委員会の開催(区域・年2回 6月 28 日、2月 21 日)

②ひっとプラン事務局会議開催(毎月2回)

(3) 広報啓発活動

①地区計画ニュースの発行(年1回)

②港北ほくほくフェスタ 区民フォーラムの開催(年1回) ※再掲

(4) 地域づくりのための意識調査および意見交換について

①意見交換会の実施(年1回 11月 29 日) 参加者:22名

②区民アンケートの実施(インターネット調査含む)

・回収数 1,673 件(9月8日～21日まで実施)

(5) 推進のための研修会の実施

①広報戦略について[研修]および情報に関する地区情報交換会(9月 27 日) 参加者:39名

2 みんなの居場所支援事業の実施【拡充】

<中期計画><ひっと ひろがる-2、つながる-1、2、3、とどく-2>

平成 18 年度より身近な地域の中で誰もが集える交流の場・居場所として「みんなの居場所」づくりの支援を行っています。介護予防や住民の交流の場が居住地から歩いて行ける場所にあることが望まれます。このような背景から、より身近な場所に、多くの人が気軽に参加できる「みんなの居場所」運営支援として、これまでの支援に加え、「港北区みんなの助成金」に新たに居場所区分を創設し立上げ支援を行いました。また、平成 28 年に遺贈されたマンションを売却し助成財源の確保に努めました。

・問い合わせ・相談件数:3件

3 身近な地域における生活支援体制整備事業の推進【重点】

<中期計画 1-1, 1-2><ひつと ひろがる-2, とどく-2>

地域の生活課題について住民と共に解決に向け取組み、超高齢化社会となる2025年に向けて、高齢者がいつまでも住み慣れたまちで元気に暮らせるよう、しくみづくりや支える人・団体の支援に努めました。

横浜市では各区社協に1層生活支援コーディネーター、各地域ケアプラザに2層生活支援コーディネーターを配置したことを受け、区役所と共に区域での課題解決に向けて取組みを進めました。

(1) 区域でのアセスメント・取組

港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金の配分や地区社協との関わり、また区社協の業務から見た地域の状況等をもとに、区域・地区域での「まち」の分析や課題の抽出、解決に向けた検討を行いました。

また、制度やサービスでは解決しにくい、暮らしの中のちょっとした困りごと(ゴミ出し、付き添い、話し相手など)に対応した活動を行う「家事・生活支援ボランティア」への支援や企業や社会福祉法人など多様な方々との連携を進めるための取組みを進めました。

①「たすけあい型生活支援ボランティアグループ情報交換会」の開催(2月 28 日) 参加者:33名

②在宅福祉分科会との連携による「家事・生活支援ボランティアグループ立ち上げマニュアル」

作成検討

③区内特別養護老人ホーム 施設長連絡会(3月 26 日) 参加者:7施設

(2) 2層生活支援コーディネーター支援

横浜市の事業進捗状況や他区・地区での取組みや事例、アセスメント結果等を、2層生活支援コーディネーターと情報共有するとともに、各地域ケアプラザ圏域での事業推進を区社協として支援しました。

また2層生活支援コーディネーター連絡会を毎月開催するとともに、新たな地域活動の担い手確保等、課題に応じた取組みを進めました。

①よこはまシニアボランティアポイント研修(11月 30 日) 参加者:70名

②おすすめ地域活動ガイドの作成

(3) 介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)の支援

横浜市の補助事業(配食・通所・見守り・訪問)について広く周知すると共に、地域団体の申請に向けた活動を区役所・地域ケアプラザと協力しながら支援しました。また、活動団体同士のネットワークづくりのため情報交換会を実施しました。本事業の活性化を目指し、介護保険事業者等に向けたPRを行いました。

①サービス B 活動団体情報交換会(10月 5 日) 参加者:29名

4 地域における子どもの居場所づくりサポートモデル事業【重点】

＜中期計画 1-1＞＜ひつと ひろがる-3、つながる-1、とどく-1＞

地域の中で子どもたちを見守ることにより孤立を防ぎ、安心して暮らすことができる環境づくりを進めるため、地域が主体となった食の支援、学習支援等の子どもの居場所の立ち上げおよび継続の支援を行いました。そして、子どもの居場所づくりを通して、地域住民同士の交流や支え合い活動の支援を行いました。

また、活動の中で把握した課題を共有し、解決するためのネットワークづくりに努めました。

(1)立ち上げ支援

- ①地域からの相談受付
- ②地区の検討会への参加
 - ・相談件数:68 件 新規居場所立ち上げ件数:4件

(2)広報啓発

- ①区内活動状況調査
- ②広報紙を活用した広報

(3)ネットワークの構築

- ①食の支援に関心のある方の連絡会開催
- ②支援者向けの研修会の実施
 - 講演会『なぜ今「子どもの居場所」が必要なのか』(2月13日) 参加者:64名
講師:幸重 忠孝氏 (こどもソーシャルワークセンター代表)
- ③区内事例の紹介
- ④活動継続の支援(食材確保のシステム化、フードバンクかながわとの連携など)

5 地域ケアプラザとの一体的な地域支援【重点】

＜中期計画 1-1＞＜ひつと-1＞

少子高齢化が進行する中、経済や雇用情勢、地域・家庭形態の変化などを背景に、8050問題やダブルケア、いわゆるゴミ屋敷、子どもの貧困など、暮らしの中にある問題は複雑多様化しており、このような新たな福祉課題はあらゆる世代にわたっています。その上で、新たな仕組みづくりの一つとして横浜市社協では平成25年に「身近な地域のつながり・支え合い活動推進事業」をスタートさせました。港北区においても、身近な地域でのつながりや支え合いをより推進するために、一人ひとりの生活状況から、その課題の解決にむけて、住民による小地域福祉活動の更なる推進に地域ケアプラザとの連携を強化し、取組みました。

(城郷地区での取組) ※進行役として参加

「生活が豊かになるような地域とのつながり～個別支援と地域支援の融合～」(8月3日)

「包括レベル地域ケア会議」(2月18日)

(1) 推進体制

① 地域ケアカンファレンスへの参加

② 地域ケア会議への参加

日常生活圏域で地域支援・個別支援を行う地域ケアプラザとともに、区域のネットワークや強みを活かして、個々人の生活課題の軽減・解消のための方針や具体的活動について検討しました。

(2) コミュニティソーシャルワーカーとしての資質向上

① 業務ミーティングによる検証・対応

身近・小地域支援における地区別・業務別の課題について、検証と対応を積み上げる機会を定期的に設けました。

(3) 地域ケアプラザとの連携・研修

① 地域活動交流コーディネーター連絡会の定例開催(月1回)

② 日常的な活動支援・協力

③ 人材育成のための研修会(年3回)

・「広報戦略について[研修]および情報に関する地区情報交換会」(9月27日) 参加者:39名

・「広報スキルアップチラシ編～効果ある伝え方&考え方」(12月25日) 参加者:14名

・「避難所運営の視点で学ぶ個別支援と地域支援」(3月18日) 参加者:12名

6 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金による活動支援【拡充】

<中期計画1-2><ひとつ ひろがる-2>

「港北区ふれあい助成金」「港北区みんなの助成金」を通じ、区内のボランティアグループ・当事者活動・介護予防活動等の支援を行いました。

・助成規模 20,828,000円

・助成団体 253団体(新規4件)

7 地区社会福祉協議会への支援【重点】

<中期計画1-3、5-2><ひとつ つながる-1>

地域住民に一番身近な地区社協事業の標準化と強化、住民の方々に信頼される地区社協運営の適正化を図り、地区社協の運営を安定的・継続的に行うとともに、活動の充実をはかる支援を行

いました。また中間支援機能を活かした「地域住民とともに取組む福祉のまちづくり」に向けた支援を行いました。特に、地区社協や地域団体が行う配食、サロン、たすけあい型ボランティア活動などの推進に向けた支援を強化してきました。

(1) 地区社協分科会の開催

①会長・事務局長合同会議(年5回)

区社協から地区社協へ組織的に依頼する機会、地区社協支援の方向性の確認の機会としました。「ひとつプラン港北」地区別計画推進の進捗状況の報告なども行いました。

②事務局長会議(年4回)

地区社協が抱える様々な課題を解決していくための具体策と、それを実践するための検討をする機会としました。また、賛助会費運動プロジェクトを開催し、広報や事務手続きの検討整備を行いました。

(2) 地区社協研修の実施

①地区社協役員 新任研修・地区社協てびき研修

地区社協の新役員が揃う6月頃に、募金や会費の意義目的や流れ、分科会、予算・決算との関連などについての研修を行いました。

②地区役員 フォローアップ出張研修

当該地区の課題や求めに応じた内容の研修を地域に出向いて実施しました。

(3) 地区社協役員と区社協事務局との懇談会

地区の次年度の方針をヒアリングし、その支援と区社協事業への反映を目的に1~2月にかけて実施しました。

8 福祉保健活動拠点の運営

<中期計画><ひとつ ひろがる-2>

場の提供を通じて、団体、個人の地域活動の支援を行うとともに、地域ニーズの把握に努め、住民や関係機関と共に課題解決に向けて取組みました。また、区民利用施設の指定管理者として、公平・公正なサービスの提供と利用者ニーズに即した運営、施設間のネットワーク強化・連携に努めました。

(1) 利用調整会議の開催(防災訓練を同時開催)(3月 15 日)

(2) 施設間連携会議(1月 30 日)

(3) 第三者評価実施

・登録団体:206 団体 　・利用件数:2,865 件 　・稼働率:50.3%

IV ボランティア活動の推進

1 区社協ボランティアセンター事業の強化【重点】

<中期計画 3-7><ひとつ ひろがる-1 >

ボランティアセンター事業を通じ、地域で活動する人材の発掘、活動の場や横のつながりづくり、また福祉に対する意識啓発を行い、区域での福祉力向上に努めました。

また、依頼内容やボランティアの登録状況について分析を行い、より効果的な事業推進に役立っていくとともに、区社協内の各部門と協力し、幅広い視点で柔軟なボランティアセンターの運営をしました。

(1)ボランティアコーディネート力の向上

相談内容や依頼者・ボランティアの分析を通して、地域の機関とのつながりづくりを強化していました。ボランティア連絡会とのこれまでのつながりを活かし、定例会で相談内容の共有を行い、連携しながら対応しました。

①コーディネーター定例会(事例検討)・勉強会開催(年10回)

②港北区ボランティアセンターの情報発信

- ・ニーズ情報発信(毎月更新)

- ・情報ラックの整理

③港北区ボランティア連絡会定例会への参加

(2)コーディネート機関・ボランティア団体との連携の強化

各地域におけるコーディネート機関やボランティア団体等との連絡会を開催し、連携を促進しました。連絡会から得た地域課題を、複数の機関と協力し解決に取組みました。

①連絡会の開催(2月28日) ※生活支援体制整備事業と共同開催

②各団体、コーディネーター向け研修の実施

(3)西部方面ボランティアセンター「やすらぎの家」の運営

区ボランティアセンターのブランチとして、地域性を活かしたボランティアセンターの運営を進めました。

①コーディネーター勉強会の実施(2月18日)

②ボランティア体験学習の実施

- ・小学生向け福祉講座(7月24・26日) 参加者:32名

- ・中学生向けボランティア体験(7月下旬~8月下旬) 参加者:26名

③ミニサロンの開催(毎週(水))

④定例会(月1回)

(4)ボランティアセンター運営委員会の開催

多様な立場の委員から広く意見を伺い、ボランティア活動の活性化と港北区ボランティアセンターの事業推進に努めました。(年2回)

- ①上半期事業報告、善意銀行報告(9月 11 日)
- ②下半期事業報告、善意銀行報告、次年度事業計画(3月 12 日)
 - ※ボランティア登録者の拡充、事業の企画・立案などについて協議

(5) 目的、対象、ニーズに応じた入門・育成講座の企画・実施

地域の活動者の発掘を目指し、具体性のあるテーマ別講座や、他施設と連携した講座を実施しました。

①傾聴講座(9月 1 日、9月 8 日) 参加者:延べ 113 名

福祉に関する活動を行っていく上では欠かせない傾聴・コミュニケーション技術の習得を目的として開催しました。

②精神保健ボランティア講座(2月 2 日、2月 9 日、2月 16 日) 参加者:延べ 75 名

精神保健分野で活動するボランティアの育成講座を開催しました。

③音声訳ボランティア初級者講座

拠点の機能を活かし、視覚障害者の支援を行う活動者を増やしていくため、活動団体と協力しボランティア育成講座を実施しました。

(1月 15 日、1月 22 日、1月 29 日、2月 5 日、2月 12 日、2月 26 日、3月 12 日、3月 19 日、
3月 26 日 事前説明会:12 月 18 日) 参加者:延べ 251 名

2 ボランティアセンターの広報・情報機能強化

<中期計画 3-7><ひとつ ひろがる-1 >

ボランティアセンター情報・ボランティア募集情報をはじめ区内福祉保健関係施設・団体の情報提供することで、ボランティアセンター機能を住民に周知し、地域福祉活動への参加を促進しました。

(1) ボランティア情報発信

①「ふくしまのまど」発行 ※再掲

ボランティア情報と配信メール情報を掲載しました。 67,500 部 × 年 4 回

②メールマガジン発行

横浜市ボランティアセンターのメール配信サービスを活用した、電子メールによるボランティア募集情報の発信(年12回)

③ボランティアニーズ情報の発行

ボランティア依頼情報をまとめた「ボランティアニーズ情報」を毎月発行しました。

- ・ボランティアセンター・福祉保健活動拠点内に掲示・配架
- ・地域の会議等で配布
- ・区社協のホームページへの掲載

(2)登録者向けボランティア募集情報の発信

登録者情報の更新を行うとともに、ボランティア募集情報を送付し活動を促進しました。

(3)区民活動支援センターと連携した情報発信

区民活動支援センターと連携し、日頃の情報共有につとめるとともに、区役所の掲示板でボランティア募集情報の提供をしました。

3 港北区災害ボランティア連絡会の運営

<中期計画 5-11 ><ひとつ とどく-3 >

港北区災害ボランティア連絡会の事務局として、災害ボランティアコーディネーターの育成、災害ボランティア活動の普及・啓発に努めました。

地域防災拠点における訓練プログラムへの協力・参加を通して、拠点との連絡・連携の体制づくりに努めました。

関係機関である区役所や横浜市災害ボランティア支援センター、近隣区の災害ボランティアセンターとの連携を強化し、災害時に対応できる体制づくりに努めました。

(1)災害ボランティア連絡会定例会(8月以外月1回)

(2)災害ボランティアシミュレーション実施(12月8日) 参加者:60名

※災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を師岡地区の協力を得て実施

テーマ:「災害時に障害のある人はどんなことに困るの?」

(3)災害ボランティアセミナー(2月17日) 参加者:36名

テーマ:「災害時の基礎力を作る:パッククッキング、コンロ検証」

(4)災害ボランティア連絡会ニュース(毎月発行)

(5)青葉区、都筑区、緑区、港北区の4区でブロック会議の開催(年2回)

(6)地域防災拠点等との訓練(港北小学校)

(7)区役所や横浜市災害ボランティア支援センター、近隣区の災害ボランティアセンターと

連携強化

4 福祉教育の推進

<中期計画 3-1、3-2><ひとつ ひろがる-2、3>

福祉教育を通じて福祉意識の醸成など、次世代育成に努めました。

(1)福祉教育相談調整機能の充実

福祉意識の醸成のため、福祉の学習に関する相談対応や協力者紹介等を行いました。依頼者のニーズに幅広く応えるとともに、区社協の福祉教育の取組みを周知しました。

・対応件数 15件

(2)福祉教育機材の貸出

必要に応じて体験学習ができるよう、車いすや高齢者疑似体験、アイマスク等の機材の貸出を行いました。

- ・機材貸出件数 40 件

(3)ボランティア体験講座「ボラリーグ☆こうほく」の実施

福祉教育と次世代の活動者育成を目的に、区内関係機関と協力しボランティア体験講座を実施しました。

①地域子育て支援拠点「どろっぷ」との協働事業

協力:子育てサロン、保育所、地域ケアプラザ等

実施期間:7月 25 日～8月 16 日

参加者:39名(中学生 23 名 高校生 15 名 専門学生 1 名)

(4)「先生のための福祉講座」(市域)の実施(市社協主催、18 区社協・市教育委員会共催)

教員向けに「学校と地域が一体となって子どもを育てる福祉教育～社会に開かれた教育課程の実現～」をテーマに、福祉とはなにかを始め、地域福祉や当事者理解など今後の学校教育で活かせる視点、手法を学ぶ講座を開催しました。

- ・8月 23 日 参加教員 23 名(区内教員3名)

(5)企業とのネットワークづくり

地域貢献活動を行う企業とのネットワークづくりに努めました。地域と企業のつながりを作り、社会貢献に関する情報提供や提案を通して地域活動の活性化を図りました。

- ・アネスト岩田株式会社(新吉田) バッテリー式車いす空気入れ(コンプレッサ)寄贈

地域貢献策についての相談・調整を行い市社協高齢福祉部会会員施設(特別養護老人ホーム)のうち、希望する 69 施設に寄贈されました。

(6)福祉活動の啓発

港北区老人クラブ連合会と共に、地域とのつながりの重要性と次世代に向けた介護予防の重要性について啓発しました。

- ・講演会「このまちで 自分らしく生きるために」(2月 27 日) 参加者:450 名

講師:八森 淳氏 (つながるクリニック院長)

5 ボランティア・市民活動分科会の開催

<ひとつ ひろがる-2、つながる-2 >

分科会会員が主体となり、会員向けに活動上参考となる講座を実施しました。生活支援体制整備事業・施設間連携事業などへ分科会会員の意見を反映させ、区全体のボランティア育成に参画できるようにしました。また、分科会活動PRのための新聞を発行しました。

- ・「チラシの作り方」(11月17日) 参加者:16名
- ・「高ちゃんのお役立ちボラ実技講座」(2月23日) 参加者:32名

6 善意銀行の運営

<中期計画 ><ひとつ ひろがる-1、つながる-1 >

福祉活動への関わり方のひとつである「寄付」について周知していくとともに、仕組についてわかりやすい周知とPRに努めました。また、寄付文化の醸成として「寄付」を通して気軽に福祉にかかわることが出来るということを啓発しました。いただいた寄付は、区内の福祉活動・市民活動を支援する貴重な財源として有効に活用へつなげています。

- ・預託金件数:43件
- ・預託品件数:3件

V 信頼される組織運営

1 信頼性の高い組織運営【重点】

理事会・評議員会・部会・委員会を開催しました。

社会福祉法に基づき、経営組織のガバナンスを強化するとともに、地域福祉の推進を目的とする非営利団体としての認識を深め、地域に根ざした活動を推進し、また会員相互の連携・協働により公益的な取組みを推進しました。

・理事会(年4回 6月13日、10月3日、1月17日、3月13日)

・評議員会(年3回 6月28日、10月25日、3月27日)

・監事會(年1回 5月28日)

・評議員選任・解任委員会(年2回 6月13日、1月17日)

・部会 専門部会・地域部会・当事者部会・学識部会

・委員会 ボランティアセンター運営委員会 ※IV-1掲載

「港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金」審査会 ※III-6掲載

「ひとつプラン港北」推進委員会 ※III-1掲載

年末たすけあい配分員会

業者選定委員会

2 組織体制の整備強化【強化】

<中期計画 4-1、4-2><ひとつ ひろがる-2 >

(1)会員組織の拡充

会員組織として、会員メリットを打ち出し、正会員の拡充により本会の組織基盤の強化を図りました。正会員の拡充のため、様々な媒体を活用し当会の事業内容や情報を発信しました。

・新規会員:7件

(2)会員セミナーの開催

社会情勢等に応じた福祉保健・地域活動に関するテーマで講義・研修を行うことにより、活動への参考とともに参加者のネットワークの構築に努めました。

①広報戦略について[研修]および情報に関する地区情報交換会(9月27日) 参加者:39名

②組織で取組むリスクマネジメント研修 (2月6日) 参加者:5名

※福祉保健研修交流センターイギリング横浜との共催

③「障がいのこと 共に知ろう 考えよう」~いつ起こるかわからない災害に備えて~(2月18日)

参加者:49名 ※障がい者セーフティネット分科会企画

(3)会員向け情報発信

正会員が定期的に情報を得られるように、各種事業・案内等を発信しました。

(4) 分科会活動の活性化を図り、各分科会の取組状況を共有することにより、分科会同士のつながりの強化に努めました。

- | | |
|------------------|--------|
| ① 連合自治会町内会分科会 | |
| ② 民生委員児童委員分科会 | |
| ③ 地区社会福祉協議会分科会 | |
| ④ ボランティア・市民活動分科会 | ※V-3掲載 |
| ⑤ 在宅福祉分科会 | ※V-4掲載 |
| ⑥ 障害者セーフティネット分科会 | ※V-5掲載 |
| ⑦ 保育所分科会 | ※V-6掲載 |

3 ボランティア・市民活動分科会の開催

<ひっと つながる-2>

生涯学習や生活支援など幅広い分野での市民活動、ボランティア活動を行う団体が集まる特色を生かし、分科会会員が主体となって講座等を行うことで、より活動ニーズに対応した内容とともに活動の充実を図りました。

会員向けにボランティア活動上参考となる講座(ちらしの作り方、プログラム活性化など)を実施しました。生活支援体制整備事業・施設間連携事業などへ分科会会員の意見を反映させ、区全体のボランティア育成に努めました。また、分科会活動を周知するために新聞を発行し、会員増加にむけて取組みました。

- ・人を集める広報力アップ講座(11月17日) 参加者:16名
- ・高ちゃんのお役立ちボランティア講座(2月23日) 参加者: 32名

4 在宅福祉分科会の開催

<中期計画4-1><ひっと ひろがる-2>

年齢や障害の有無を問わず、支援を必要としている人が在宅で安心して暮らしていくために、地域のボランティア団体や福祉施設が連携して、ネットワークづくりを進めています。

生活支援体制整備事業部門とも協力しながら、フォーマルサービス・インフォーマルサービスの連携をふまえ、地域での支えあいの仕組みづくりについて検討をしました。とくに、制度やサービスでは解決しにくい暮らしのちょっとした困りごとを支える「家事・生活支援ボランティアグループ」の重要性に着目し、立ち上げマニュアルの作成に向けた協議を開始しました。

5 障害者セーフティネット分科会の開催

<中期計画 3-5><ひとつ ひろがる-1 >

障害者セーフティネット分科会では、障害の有無に関わらず支援を必要としている人が、地域で安心して暮らすためのネットワークを作ることを目的に「障害理解の促進」と「障害当事者と地域とのつながり」を柱として事業を進めました。

具体的な活動として、勉強会や交流会等を企画・実施し、自らの知識を高めるとともに、相互の交流を行い、円滑に連携できるネットワークの形成に努めました。そして、区内の住民に向け障害の理解を促進するため、障害福祉に関する講演会を企画し、障害当事者の希望や正しい知識を伝えてきました。※V-5掲載

加えて、地域防災拠点運営訓練に参加し、当事者の希望を拠点へ伝えることで、支援を必要としている人が安心して暮らせる地域づくりに寄与してきました。併せて、黄色と緑のバンダナおよびコミュニケーションボードの普及活動を行うことで、障害への理解を促進しました。

また、分科会の人形劇啓発グループ「こことも」への講演依頼が増加し、障害理解のための活動の必要性が高まってきました。分科会会員の協力を得ながら、講演の質を高めていくことで、分科会の目的を達成できるように努めました。

・地域防災拠点訓練への参加:8件

(大曾根小、北綱島小、港北小、篠原小、篠原西小、高田中、綱島東小、日吉南小)

・講演会「障がいのこと 共に知ろう 考えよう」～いつ起こるかわからない災害に備えて～

(2月 18 日) 参加者:49名

6 保育所分科会の開催

<中期計画 4-1><ひとつ ひろがる-2 >

本会分科会だからこそできる、公立・私立の枠を超えたネットワークを活かして、区域における子育てをめぐるさまざまな課題の共有・解決の場としました。また、地域組織や団体と連携して子育てを考える機会を作りました。

(1)研修会

①テーマ「豊かな人間関係を築くコミュニケーション」(7月 13 日) 参加者:31名

②テーマ「コーチングコミュニケーション」(1月 11 日) 参加者:35名

(2)定例会(年2回)

①情報交換「新年度に入って各園の取組」(5月 11 日)

②次年度分科会事業計画について(3月 8 日)

(3)小規模保育園との交流会(9月14日) 参加者:20名

- ・内容:「子育て施設の災害時における地域との連携のために
～“まち保育”の観点から取り組んでみよう！」

(4)保育所分科会・港北区内子育て支援団体 合同交流会(11月9日) 参加者:26名

- ・内容:①デイリータッチケア講座
- ②交流会

(5)わくわく子育て広場

- ・実行委員会:全7回

(4月16日、5月21日、6月18日、7月17日、8月27日、9月7日、10月19日)

- ・開催:9月8日 港北公会堂

- ・内容:遊び、食育、舞台、PR(パネル展示等)

7 苦情解決システムの充実

利用者が意見・要望を言いやすい環境をつくるとともに、苦情を利用者からの貴重なニーズとして真摯に受け止め、利用者の権利擁護、事業推進、サービスの質の向上に努めました。

また、窓口満足度調査の実施や「ご意見箱」の運用により、ご意見・要望等を聴取し、業務の改善に努めました。

- ・苦情件数:1件

8 リスクマネジメントの推進

リスクマネジメントを職員間で徹底するとともに、事故等発生時の基本的な対応を明確にし職員間で徹底しました。

また、日常的にヒヤリハットの共有を行うとともに、横浜市の社会福祉協議会としてのスケールメリットを活かし、市域の職員全体研修等を通じて事例による検討を行い、事故防止に努めました。

(1)日々の業務の中でヒヤリハット・事故の共有と改善策について共有(朝・タミーティングの活用)

(2)職員全体研修(年3回)

①今年度の事業計画・重点計画について、水害時避難計画について(4月26日) 参加者:24名

②中間期振り返り、BCP、ヒヤリハットについて(9月27日) 参加者:23名

③窓口満足度調査、AEDについて(1月31日) 参加者:18名

9 情報公開・個人情報保護制度の運用

社会福祉法の理念に基づき、透明性の高い事業運営に努めました。法人の情報公開制度を基に適切に取り扱いました。また、改正個人情報保護法に対応した個人情報の適切な取り扱いを徹底するとともに、適正かつ効率的に活用し、信頼性の高い運営を行いました。個人情報保護に関する研修を実施し、意識啓発と個人情報の保護に努めました。

10 財政運営の適正化

特色ある区社協活動を進めていくために、賛助会費等自主財源の安定的な確保と財政運営の適正化に努めました。また、広報紙やホームページ等を通じ、本会の活動や事業、会費等の活用について広く発信しました。

・正会費	一団体 5,000円	合計 1,249,600円
・世帯会費		合計 4,128,730円
・賛助会員運動	一口 2,000円	合計 16,926,010円
・善意銀行		合計 1,878,264円
・共同募金・年末たすけあい運動		合計 30,864,147円

11 職員の育成

横浜市社協人材育成計画に沿った職員育成を進めていくとともに、市社協内部研修やウイリング横浜などの外部研修に参加して、職員それぞれがもつ業務の専門性を高めるため、必要な知識、技術の研鑽に努めました。さらに MBO や人事考課制度を活用して、一人ひとりの職員が立場と組織目標を認識して業務遂行しました。

また、小地域支援を事業の柱とする区社協の職員に必要なスキルを高めるため、地区別・事業別業務ミーティングを月 2 回、内部研修を年 3 回開催しました。

12 法人運営事務の効率化

インターネットバンキングやスケジュール管理など IT の活用により法人運営事務の効率化を図りました。

- ・インターネットバンキングの活用
- ・グループウェアの活用およびスケジュール管理の効率化

13 団体事務

福祉関係6団体の事務局として、各団体の自主的活動を支援するとともに、団体との連携により、地域福祉を推進しました。なお、港北保護司会は次年度より自主運営することになりました。

・団体事務局

神奈川県共同募金会港北区支会

日本赤十字社神奈川県支部港北区地区委員会

港北保護司会

港北区更生保護女性会

港北区遺族会

港北区「社会を明るくする運動」実施委員会

平成30年度 事業実績一覧

広報

(H31.3月末現在)

◆区社協ホームページ閲覧件数

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
閲覧件数	33,382	105,695	36,757	44,870	45,674

◆ココマップ閲覧件数

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
閲覧件数	245,147	222,263	209,746	201,102	248,591

あんしんセンター

◆あんしんセンター利用状況

相談・契約件数

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
契約件数	30	29	37	42	47

30年度内訳	高齢者	障がい者	その他	合 計	(純増)
定期訪問サービス	16	31	0	47	5
預かりサービス	2	6	0	8	0

延活動数	内容	高齢者	障がい者	その他	合 計
	初回相談	33	17	1	51
	継続相談・活動	1,449	2,910	0	4,359

要援護者移送サービス

◆件数

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
件数	1,103	1,186	1,079	957	886

「おでかけGO!港北」

◆相談件数

30年度					
通学	通所	通院	余暇	その他	合計
58	61	7	36	28	190

生活福祉資金

◆生活福祉資金新規貸付件数

資 金 名		件 数
生活福祉資金	福祉資金	2
	教育支援資金	25
	総合支援資金	0
	臨時特例つなぎ資金	0
	不動産担保型生活資金	1
	緊急小口貸付資金（特例含む）	5

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
生活福祉資金	35	46	32	17	27
総合支援資金	2	1	0	0	0
つなぎ資金	2	1	0	0	0
不動産担保型生活資金	1	1	0	0	1
緊急小口貸付資金	10	5	2	2	5
合 計	50	50	54	34	33

◆港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金審査会

開催日	主 な 内 容
6月4日	1 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金について 2 平成30年度助成金申請団体について 3 平成30年度港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金の審査について 4 その他
9月19日	1 平成30年度助成要件等の変更について 2 独自区分の見直しについて 3 その他
2月19日	1 本年度配分実績及び次年度予算（予定）について 2 次年度助成要領（案）について 3 ヒアリングの実施について（報告）

地区社協支援

◆ 賛助会費金額

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
金額	¥17,671,000	¥17,822,600	¥17,360,020	¥16,956,205	¥16,926,010

◆ 地区社会福祉協議会分科会（地域部会）

地区社協会長・事務局長合同会議

開催日	主な内容
4月19日	【議案】評議員候補者の選任、区社協事業計画、地区社協新任研修、地区社協活動費（市社協補助金）、賛助会員運動 【報告】子どもの居場所づくりサポートモデル事業、行動指針、地区計画ニュース
6月21日	【議案】港北区社会福祉大会顕彰候補者の推薦、港北区社会福祉協議会正会費、【報告】地区社協総会の結果、地区社協新任研修の実施結果、第4期横浜市地域福祉保健計画（素案）に関するパブリックコメント、高齢者への見守り活動に係る啓発物提供、横浜で子ども食堂地域食堂をつくろうガイドブック、横浜地域福祉フォーラム、地区社協チェックシート
9月20日	【議案】地区社協事業助成金（賛助会費）の交付 【報告】年末たすけあい運動の実施、賛助会員運動プロジェクト（中間報告）、第1回地区社協検討会報告、第35回港北ほくほくフェスタ、第4回よこはま地域福祉フォーラム、「ひつとプラン港北」地区連絡会議の開催
11月15日	【議案】年末たすけあい運動今後の事務の流れ、地区社協事業助成（賛助会費）の交付、地区社協役員と区社協事務局との懇談会、来年度の区社協における地区社協活動支援 【報告】第36回港北ほくほくフェスタ、第2回地区社協検討会報告、地区社協全体会、地域福祉つなぎ隊研修、平成31年度賛助会費の資材
3月20日	【議案】地区社協状況書、港北区社協賛助会員運動、区社協における地区社協活動支援計画（案）、地区社協検討会報告 【報告】地区社協役員と区社協事務局との懇談会結果、地区社会福祉協議会総会日程、年末たすけあい配分金並びに募金結果、講座『なぜ「子どもの居場所」が必要なのか』実施結果、港北区地域福祉保健計画に関する区民意識調査結果報告

地区社協事務局長会議

開催日	主な内容
4月19日	平成30年度 地区社協活動費（市社協補助金）、賛助会員運動、地区社協の時間
6月21日	賛助会員運動
9月20日	賛助会員運動プロジェクト（中間報告）
2月28日	地区社協状況書、港北区社協賛助会員運動について（案）、地区社協関係会議等の日程（案）、地区社協役員と区社協事務局との懇談会開催結果、なぜ今「子どもの居場所」が必要なのかアンケート集計結果

福祉保健活動拠点

◆福祉保健活動拠点利用件数

団体別利用件数	ボランティア団体	障がい者団体	その他の団体	計
	1,536	192	1,137	2,865

部屋別利用件数	団体交流室	多目的研修室	点字製作室	録音室	対面朗読室
	905	613	299	604	444

利用件数	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	4,164	3,871	4,026	3,856	2,865

ボランティアセンター

◆福祉機器貸し出し件数

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
依頼件数	72	79	83	78	40

◆ボランティア・コーディネート ※カッコ内は新規登録者

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
紹介件数	97	129	167	145	105
コーディネート率	78	69	95	69	74
登録人数（個人）	568(110)	551(71)	595(62)	595(71)	663(70)
登録グループ数	71(5)	74(4)	74(3)	76(3)	82(6)

◆善意銀行寄付状況

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
寄付金件数	32	30	27	40	43
預託品件数	2	8	14	12	3
寄付金総額	¥2,536,612	¥3,241,862	¥1,759,706	¥1,832,019	¥1,878,264

福祉教育関係

◆福祉教育相談調整（対応件数：15件/17件）

実施日	学校・機関名	対象	内 容
7月3日	大豆戸小学校	4年生	手話体験
10月25日	綱島小学校	4年生	視覚障害当事者の話、点字・アイマスク体験
11月8日	綱島小学校	4年生	手話体験
9月20日	新吉田第二 小学校	4年生	視覚障害当事者の話、点字・アイマスク体験
11月7日			車いす体験
10月2日			手話体験
10月10日			高齢者疑似体験
12月6日	菊名小学校	4年生	視覚障害当事者の話
10月3日	師岡小学校	4年生	車いす体験
11月12日	大綱小学校	2年生	手話体験
11月22日	大曾根小学校	2年生	手話体験
11月9日	大曾根小学校	4年生	視覚障害当事者の話、点字体験
11月26日	太尾小学校	6年生	盲導犬ユーザーの話
12月14日	城郷小学校	4年生	手話体験
2月22日	篠原中学校	3年生	視覚障害当事者の話、点字体験、 認知症サポートー養成講座、手話体験

◆福祉教育・講座

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
件数	21	25	19	14	15
参加人数	3,053	3,856	3,250	2,640	1,692

法人運営

◆理事会 ()は出席者数 ※場所：港北区活動拠点 多目的研修室

開催日	主な内 容	結果
6月13日 理事 (7) 監事 (2)	1 平成29年度事業報告並びに決算報告について 2 平成29年度監事監査報告について 3 評議員候補者の推薦について 4 評議員選任・解任委員会の招集について 5 評議員会の招集について 6 会員の入会承認について	全て原案どおり承認
10月3日 理事 (9) 監事 (2)	1 平成30年度第1回補正予算案について 2 評議員会の招集について	全て原案どおり承認
1月17日 理事 (7) 監事 (2)	1 評議員選任・解任委員会の招集について 2 評議員選任候補者の推薦について 3 会員の入会承認について	全て原案どおり承認
3月13日 理事 (8) 監事 (2)	1 平成31年度港北区社会福祉協議会事業計画並びに一般会計収入支出予算案について 2 平成31年度港北区福祉保健活動拠点事業計画並びに収入支出予算案について 3 監事候補者の推薦について 4 平成30年度第3回評議員会の招集について	全て原案どおり承認

◆監事会 ()は出席者数 ※場所：港北区活動拠点 対面朗読室

開催日	主な内 容	結果
5月28日 監事 (3)	・平成29年度港北区社会福祉協議会事業執行状況、経理状況及び財産状況の監査	正しく適正であると認める

◆評議員選任・解任委員会 ()は出席者数

開催日	主な内 容	結果
6月13日 委員 (3)	・社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会評議員欠員等による次期評議員の選任について	原案どおり承認
1月17日 委員 (3)	・社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会評議員欠員等による次期評議員の選任について	原案どおり承認

◆評議員会 ()は出席者数 ※場所：港北区活動拠点 多目的研修室

開催日	主な内容	結果
6月28日 評議員 (15) 役員 (5)	1 平成29年度事業報告について 2 平成29年度決算報告について 3 平成29年度監事監査報告について 4 理事の選任について	原案どおり承認
10月25日 評議員 (14) 役員 (4)	1 平成30年度第1回補正予算案について	原案どおり承認
3月27日 評議員 (20) 役員 (4)	1 平成31年度港北区社会福祉協議会事業計画並びに一般会計収入支出予算案について 2 平成31年度港北区福祉保健活動拠点事業計画並びに収入支出予算案について 3 監事候補者の選任について	原案どおり承認

◆ボランティア・市民活動分科会（地域部会）

開催日	主な内容
4月19日	事業計画、ボランティア市民活動分科会新聞編集、施設見学について
5月17日	講座について、施設見学について、シニア大学について、新聞について
6月21日	施設見学について、講座について
7月19日	施設見学 宇宙航空研究開発機構
9月20日	ほくほくフェスタについて、講座①について
10月18日	ほくほくフェスタについて、講座①について
11月2日	ほくほくフェスタ当日～パネル展示～
11月15日	講座①について
11月17日	ボランティア講座①「広報力アップ講座」
12月20日	講座①の振り返り、講座②について
1月17日	講座②について
2月21日	講座②について、次年度事業計画について
2月23日	ボランティア講座②「高ちゃんのお役立ちボラ講座」
3月28日	講座②振り返り、次年度計画について

◆在宅福祉分科会（専門部会・地域部会）

開催日	主な内容
5月23日	平成30年度分科会の取組について
7月25日	家事生活支援団体立ち上げマニュアルの検討について
9月26日	家事生活支援団体立ち上げマニュアルの検討について
11月28日	家事生活支援団体立ち上げマニュアルの検討について ・生活支援コーディネーターを交えて
1月23日	家事生活支援団体立ち上げマニュアルの検討について
3月27日	家事生活支援団体立ち上げマニュアルの検討について

◆障害者セーフティネット分科会（当事者部会・専門部会）

全体会

開催日	主な内容
5月18日	平成30年度の活動内容（講座企画、活動発表会など）について検討
7月20日	活動発表会、内部勉強会・交流会（北綱島特別支援学校について）
9月21日	勉強会について、ほくほくフェスタについて、防災拠点訓練への参加について
11月16日	分科会主催の講演会について検討、地域防災拠点訓練参加報告、活動発表会
1月18日	分科会主催の講演会について検討、来年度の分科会の活動内容について
3月15日	今年度の振り返り、次年度の分科会活動について

役員会

開催日	主な内容
4月20日	平成30年度の活動内容（講座企画、活動発表会など）について検討
6月15日	活動発表会の詳細について、内部勉強会について
8月17日	勉強会について、ほくほくフェスタについて、防災拠点訓練への参加について
10月19日	活動発表会の詳細について、講演会の企画について
12月21日	来年度の分科会の活動内容について、講演会の企画について
2月15日	平成31年度 分科会活動計画について

講演会

開催日	主な内容
2月18日	障がいのことと共に知ろう考え方 ～いつ起こるかわからない災害に備えて～

◆保育所分科会（専門部会）

開催日	主な内容
5月11日	情報交換「新年度に入って各園の取組」
7月13日	研修「豊かな人間関係を築くコミュニケーション」 (対象：主任保育士) 講師：代表理事 橋口 奈生 氏(一般社団法人Seeds growth coaching)
9月14日	区内小規模保育園との交流会 「子育て施設の災害時における地域との連携のために ～“まち保育”の観点から取り組んでみよう！」 講師：三輪 律江 氏(横浜市立大学都市社会文化研究科准教授)
11月9日	子育て支援団体との交流会 ①ディリータッチケア講座 講師：宇都木 薫子 氏 (Ohanaディリータッチケアセラピスト、IHTAチャイルドボディセラピストインストラクター、AEAJアロマテラピー アドバイザー) ②交流会
1月11日	研修「コーチングコミュニケーション」(対象：経験年数3年目以上の保育士) 講師：代表理事 橋口 奈生 氏 (一般社団法人Seeds growth coaching)
3月8日	次年度事業計画について

◆ボランティアセンター運営委員会

開催日	主な内容
9月11日	平成30年度上半期事業報告、善意銀行事業報告
3月12日	平成30年度下半期事業報告、善意銀行事業報告、31年度事業計画について

◆区社協新規会員数

団体種別	第1種 (施設)	第2種 (地区民児協)	第5種 (当事者)	第6種 (ボランティア)	第7種 (福祉団体)
団体数	4	0	0	3	0

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
団体数	9	4	3	9	7

◆苦情件数

制度	手続き	職員等の対応	事業	その他
0	0	0	1	0

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
件数	2	3	3	2	1

港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金 配分団体一覧表

区分	番号	団体名	代表者	申込事業	助成金決定額
要援護者支援	1001	ほのぼ～の	朝田尚子	集いの場	40,0
要援護者支援	1002	かもめのつどい	高橋キヨ子	集いの場	80,0
要援護者支援	1003	大豆戸民児協まめのきひろば	木村真砂子	集いの場	80,0
要援護者支援	1004	元気な笑顔	中村悦男	集いの場	80,0
要援護者支援	1005	配食よつ葉会	外山登志子	配食	240,0
要援護者支援	1006	まちの縁側 そよご	稻垣弘子	集いの場	50,0
要援護者支援	1007	菊名ハイツボランティアの会	富田和江	集いの場	200,0
要援護者支援	1008	移動サービスワーカーズコレクティブ らら・むーぶ港北	眞智康恵	送迎	350,0
要援護者支援	1009	チーム おいもほり	堀悌一	集いの場	80,0
要援護者支援	1010	竹の子につぱ	鈴木京子	集いの場	40,0
要援護者支援	1011	Mirumiru	岡律子	集いの場	60,0
要援護者支援	1012	篠原台町 みどりの会	立野京子	集いの場	80,0
要援護者支援	1013	城郷ひろば	橋本あや子	集いの場	120,0
要援護者支援	1014	さつきクラブ	高津志津子	集いの場	120,0
要援護者支援	1015	子育て支援グループ まーぶる	片平美恵子	集いの場	80,0
要援護者支援	1016	おれんじの会	古田富美恵	集いの場	120,0
要援護者支援	1017	師岡こども学習会	今村妙子	集いの場	80,0
要援護者支援	1018	西町のつどい	服部光子	集いの場	80,0
要援護者支援	1019	コミュニティースペース港北 うえるびーサロンW.Co路	横溝純子	集いの場	80,0
要援護者支援	1020	ふくしの和・高田	寺尾眞喜	集いの場	80,0
要援護者支援	1021	宮前交流カフェプロジェクト	足立弘	集いの場	80,0
要援護者支援	1022	みちくさの会	井上禮子	集いの場	80,0
要援護者支援	1023	ほっと新吉田	西仁美	家事・生活支援	160,0
要援護者支援	1024	いこいの会	臼井ひろみ	集いの場	80,0
要援護者支援	1025	ミニ樽サロン運営委員会	吉原富美子	集いの場	80,0
要援護者支援	1026	太尾っ子広場	小野治美	集いの場	80,0
要援護者支援	1028	土井町茶話会	堤信子	集いの場	80,0
要援護者支援	1029	こどものへや文庫	吉田直子	集いの場	70,0
要援護者支援	1030	ミニデイサービス お茶の間	新井さち子	集いの場	70,0
要援護者支援	1031	おおそねちびサロン	飯塚隆子	集いの場	70,0
要援護者支援	1032	こんぺいとうさん	今西恒平	集いの場	80,0
要援護者支援	1033	プラザ城郷	阿藤美智子	集いの場	70,0
要援護者支援	1034	子育て支援ワーカーズコレクティブmonami	菊地恭子	集いの場	400,0
要援護者支援	1035	WAIWAIみんなの箕輪クラブ	小島清	集いの場	40,0
要援護者支援	1036	なごみの会	白鳥千代子	集いの場	80,0
要援護者支援	1037	あみねっと	岡本忠亮	集いの場	300,0
要援護者支援	1038	「ダンラン」男同志の昼食会	山本凱夫	集いの場	80,0
要援護者支援	1039	菊名南町ボランティア ひな菊	佐野美保子	集いの場	80,0
要援護者支援	1040	花しょうぶ	椎名真生	集いの場	70,0
要援護者支援	1041	コーヒーサロンわいわい城郷	山崎正二	集いの場	120,0
要援護者支援	1042	グループひまわり	鈴木笑子	集いの場	80,0
要援護者支援	1043	綱島つくしの会	松川友子	集いの場	180,0
要援護者支援	1044	とことこの会	磯村千春	集いの場	70,0
要援護者支援	1045	大曾根やすらぎ昼食会	松村富美子	集いの場	80,0
要援護者支援	1046	篠原北地区民生委員児童委員協議会	鈴木久子	集いの場	80,0
要援護者支援	1047	あつたかだ	池谷寿奈子	集いの場	80,0
要援護者支援	1048	新田クラブ	猪股八重子	集いの場	120,0
要援護者支援	1049	港北子育て支援W.Co ココット	野村潤子	集いの場	40,0
要援護者支援	1050	ベビそね	吉田理江	集いの場	80,0
要援護者支援	1051	はあとネットワーク港北	藤井文子	集いの場	120,0
要援護者支援	1052	太尾ふれあいクラブ	竹崎理浩	家事・生活支援	80,0
要援護者支援	1053	みんなの広場	中村康代	集いの場	50,0
要援護者支援	1054	みんなの食場@ママサポ	児島玄子	家事・生活支援	400,0
要援護者支援	1055	城郷よってこ会	櫻井秀武	集いの場	300,0
要援護者支援	1056	高田っ子育て	和泉千津子	集いの場	80,0
要援護者支援	1057	特定非営利活動法人ポケット	金田友美	集いの場	80,0
要援護者支援	1058	篠原東福祉部いこいの集い	出原尚子	集いの場	80,0
要援護者支援	1059	子育てサロンはひふへほ	小林純子	集いの場	180,0

港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金 配分団体一覧表

区分	番号	団体名	代表者	申込事業	助成金決定額
要援護者支援	1060	ひなたぼっこ	田中博子	集いの場	80,000
要援護者支援	1061	ハッピーママ	松崎綾子	集いの場	80,000
要援護者支援	1062	おしゃべりサロン	垣中佳子	集いの場	80,000
要援護者支援	1063	みんなの食場@港北	笠原徳子	集いの場	300,000
要援護者支援	1064	綱島東ボランティア	吉原直美	配食	80,000
要援護者支援	1065	スリーA教室元気！！	永野和子	集いの場	40,000
要援護者支援	1066	キッチンいこい	小川紀美子	配食	80,000
要援護者支援	1067	デイサービス りんどうの会	村野明美	集いの場	80,000
要援護者支援	1068	サロン小机	八嶋恵子	集いの場	120,000
要援護者支援	1069	宮前赤ちゃん会2	福井多喜子	集いの場	60,000
要援護者支援	1070	かもみいる運営委員会	久保乃理子	集いの場	80,000
要援護者支援	1071	子育てサロン たんぽぽにっぽ	長瀬絵香	集いの場	120,000
要援護者支援	1072	コミバス市民の会	入江勝通	送迎	300,000
要援護者支援	1073	わだねの会	壬生慶子	集いの場	80,000
要援護者支援	1074	綱島西ボランティアグループ	松尾孝子	配食	80,000
要援護者支援	1075	特定非営利活動法人 横浜子育て支援グループぽっけ	渡邊歌子	集いの場	80,000
要援護者支援	1076	おおきくなあれ	上田美穂	集いの場	180,000
要援護者支援	1077	コーヒーボランティア らんらん	服部知行	集いの場	80,000
要援護者支援	1078	回想法で思い出話を楽しむ会	佐川千明	集いの場	80,000
要援護者支援	1079	カラダづくりサロン・鳥山健康大学	高橋亮星	集いの場	80,000
要援護者支援	1080	郷づくり濱なかま	岩田聰子	集いの場	80,000
要援護者支援	1081	学びのサロンとりやまアカデミア	大野芳美	集いの場	80,000
要援護者支援	1082	港北区移動サービスを考える会	安岡信幸	送迎	220,000
要援護者支援	1083	やまびこの会	由井昌子	配食	120,000
要援護者支援	1084	おはなし、な～に？	高橋真由美	集いの場	70,000
要援護者支援	1085	サロン・コンフォール南日吉	紀伊福子	集いの場	80,000
要援護者支援	1086	ちびたる	市川智美	集いの場	180,000
要援護者支援	1087	子育てサロン 「このゆびと～まれ！」	関治美	集いの場	40,000
要援護者支援	1088	子育てサロン 新横浜花の輪クラブ	菊城恵子	集いの場	80,000
要援護者支援	1089	なごみ会	高久志江	集いの場	80,000
要援護者支援	1090	表谷交流サロン会	金子安夫	集いの場	250,000
要援護者支援	1091	大倉山地区社会福祉協議会	飯山精三	集いの場	300,000
要援護者支援	1092	綱島地区「ふれあいサロン」	長友健一	集いの場	60,000
要援護者支援	1093	ふらっと高田	相澤昇	集いの場	400,000
障害児者支援	2001	おひさまっ子の会水泳部	東海林裕一	障害児者支援	100,000
障害児者支援	2002	木10会	森一彦	当事者活動	40,000
障害児者支援	2003	アダージョ	大塚綾子	障害児者支援	80,000
障害児者支援	2004	横浜ドリーマーマーメイド	新居智子	当事者活動	100,000
障害児者支援	2005	書葉会	後藤悠子	障害児者支援	100,000
障害児者支援	2006	横浜レジェンド	高田勝哉	障害児者支援	150,000
障害児者支援	2007	こうづき会	早瀬明子	宿泊・日帰りハイク	50,000
障害児者支援	2008	めだか会	三好宇女	障害児者支援	160,000
障害児者支援	2009	ツインバスケットボールを楽しむ会	杉野政広	障害児者支援	150,000
障害児者支援	2010	ディスクク레이ジー	岩澤秀明	当事者活動	40,000
障害児者支援	2011	拡大写本グループ赤いくつ	付岡博子	視覚・聴覚障害者支援	50,000
障害児者支援	2012	横浜北部失語症友の会	堀江光司	当事者活動	60,000
障害児者支援	2013	ニセキの会スイミング	内田衣里	障害児者支援	40,000
障害児者支援	2014	宮前ドルフィン(横浜ドルフィン)	小山千利	障害児者支援	60,000
障害児者支援	2015	横浜ドリーマー アーチェリークラブ	吉澤史彦	当事者活動	60,000
障害児者支援	2016	ラポールFC	山田幸雄	当事者活動	60,000
障害児者支援	2017	スイミー	落合京子	障害児者支援	150,000
障害児者支援	2018	横浜ドリーマーポップ	西脇かほる	障害児者支援	100,000
障害児者支援	2019	音楽療法横浜グループ	坂根一美	当事者活動	150,000
障害児者支援	2020	ブラッシュSTC	鬼頭律子	障害児者支援	100,000
障害児者支援	2021	ポパイ	早川篤子	障害児者支援	40,000
障害児者支援	2022	「書の会」失語症の方のための書道教室	山口滋	当事者活動	60,000
障害児者支援	2023	横浜ドリーマーフライングディスククラブ	西原雅子	当事者活動	60,000
障害児者支援	2024	SCみどり	岩撫文彦	当事者活動	150,000

港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金 配分団体一覧表

区分	番号	団体名	代表者	申込事業	助成金決定額
障害児者支援	2025	こどものためのハチャメチャアトリエ	安田美奈子	障害児者支援	60,000
障害児者支援	2026	ラポール卓友会	石河恵美	当事者活動	150,000
障害児者支援	2027	横浜レッドブリックス	齊藤誠	障害児者支援	150,000
障害児者支援	2028	港北区視覚障害者福祉協会	加藤芳保	宿泊・日帰りハイク	50,000
障害児者支援	2029	障がい児者のよりどころ ふれんど	畔柳三笑	当事者活動	60,000
障害児者支援	2030	港北区手話サークルあじさいの会	山口タケシ	視覚・聴覚障害者支援	50,000
障害児者支援	2031	ヒップホップダンスクラブ	天野智子	障害児者支援	100,000
障害児者支援	2032	ノヘアプア	吉川美保	障害児者支援	60,000
障害児者支援	2033	水泳同好会サッシュ	隈部愛子	障害児者支援	60,000
障害児者支援	2034	港北録音グループ	鍋島千秋	視覚・聴覚障害者支援	50,000
障害児者支援	2035	お茶の会	清水享香	障害児者支援	60,000
障害児者支援	2036	白梅会	小嶋雅子	障害児者支援	60,000
障害児者支援	2037	雅きり絵会	上田良司	当事者活動	60,000
障害児者支援	2038	高田パソコンクラブ	池田勝彦	当事者活動	84,000
障害児者支援	2039	横浜いるかスイミングクラブ	西幸子	障害児者支援	60,000
障害児者支援	2040	セサミ香房	井上麻子	障害児者支援	30,000
障害児者支援	2041	舞岡のKAZE	本郷直子	宿泊・日帰りハイク	50,000
障害児者支援	2042	港北区肢体障害者福祉協会	永沼栄輝	宿泊・日帰りハイク	50,000
障害児者支援	2043	声を楽しむ声楽教室	姜幸吉	障害児者支援	200,000
障害児者支援	2044	ふれあい・こんさ～と実行委員会	杉本昌子	障害児者支援	60,000
障害児者支援	2045	水泳クラブグッピー	若木美香	当事者活動	100,000
障害児者支援	2046	フリッパーの会	菅由美	障害児者支援	100,000
障害児者支援	2047	ダンスワークかれん	井桁幸子	障害児者支援	60,000
障害児者支援	2048	YOKOHAMA Bay Dream P.S.C	木村鈴恵	障害児者支援	100,000
障害児者支援	2049	ウォーターボーイズ	臼井みゆき	当事者活動	160,000
障害児者支援	2050	ドリーマ・サンワテニスクラブ	三崎邦一	当事者活動	60,000
障害児者支援	2051	横浜ボッチャ倶楽部	佐藤 正	障害児者支援	90,000
障害児者支援	2052	はっぴいかいと	朝倉聰	障害児者支援	60,000
障害児者支援	2053	横浜ドリーマレクリエーションクラブ	加藤昭八	当事者活動	200,000
障害児者支援	2054	横浜ドリーマーショートテニスクラブ	水田哲也	当事者活動	120,000
障害児者支援	2055	グループペンギンA	斎藤由起子	当事者活動	100,000
障害児者支援	2056	ABM	小平和枝	障害児者支援	150,000
障害児者支援	2057	横濱義塾	月村安孝	当事者活動	150,000
障害児者支援	2058	港北区障害者地域活動ホームしもだ	片野芳昭	宿泊・日帰りハイク	50,000
障害児者支援	2059	コスマス工房	片野芳昭	宿泊・日帰りハイク	50,000
障害児者支援	2060	光る波(シュタイナーを学び障がいを考える会)	山口悦子	障害児者支援	60,00
障害児者支援	2061	横浜市中途失聴・難聴者協会	鈴木真実	視覚・聴覚障害者支援	20,00
障害児者支援	2062	特定非営利活動法人 躍動塾	佐藤竜一	障害児者支援	150,00
障害児者支援	2063	ピアサポート・L	本儀まり	当事者活動	40,00
障害児者支援	2064	横浜レインボー	加古龍志	当事者活動	60,00
障害児者支援	2065	ハーモニー	小宅百代	障害児者支援	40,00
障害児者支援	2066	あるく会(ウォーキングエンジェルズ)	金子佐登資	当事者活動	60,00
障害児者支援	2067	横浜ラポールアトム会	日高昭敏	当事者活動	150,00
障害児者支援	2068	しらゆり会	斎藤安雄	当事者活動	60,00
障害児者支援	2069	港北手話サークル梅の会	半田美香	視覚・聴覚障害者支援	50,00
障害児者支援	2070	ザ・ストロークススポーツクラブみなと会	花塚竹次	当事者活動	100,00
障害児者支援	2071	ラ・ストラーダJr	久保田章	宿泊・日帰りハイク	50,00
障害児者支援	2072	楽友会	小川哲夫	障害児者支援	70,00
障害児者支援	2073	リンデンーカフェ社一	大井加奈子	宿泊・日帰りハイク	30,00
障害児者支援	2074	横浜ひよこ教室 幼児部	高岡恵	障害児者支援	150,00
福祉のまちづくり	3001	ワンツーリトミック	平山寛子	福祉のまちづくり	40,00
福祉のまちづくり	3002	ともだちや	漆原友子	福祉のまちづくり	40,00
福祉のまちづくり	3003	親子サークル ドナルドダック	濱田彩	福祉のまちづくり	40,00
福祉のまちづくり	3004	おひさまたんけんたい	小松由希子	福祉のまちづくり	27,00
福祉のまちづくり	3005	ぞうさんの帽子	野口美佳	福祉のまちづくり	40,00
福祉のまちづくり	3006	しのはランド	井上弥生	福祉のまちづくり	40,00
福祉のまちづくり	3007	オリーブの会	天野由紀江	福祉のまちづくり	30,00
福祉のまちづくり	3008	NPO法人フォーラム・アソシエ	元木知子	福祉のまちづくり	30,00

港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金 配分団体一覧表

区分	番号	団体名	代表者	申込事業	助成金決定額
福祉のまちづくり	3009	フライデー会	松永育仔	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3010	ま～の・ま～の	山下佐千子	福祉のまちづくり	30,000
福祉のまちづくり	3011	仲手原自治会ふれあい祭り実行委員会	斎藤真幾男	福祉のまちづくり	30,000
福祉のまちづくり	3012	公園あそびの会 おるたん	伊藤久美子	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3013	太尾フレンドサロン・いこい	小沢義雄	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3014	楽々フト	臼井シサヨ	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3015	ハートハーモニー	加藤悦子	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3016	新横浜若年性認知症の人と家族の会(SJNK)	塩崎一昌	福祉のまちづくり	30,000
福祉のまちづくり	3017	港北おはなし会	石川美江子	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3018	ウエルカム	設樂祐子	福祉のまちづくり	37,000
福祉のまちづくり	3019	四季の音	宮澤徹	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3020	おはなしキラキラぽっけ	川上あき子	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3021	アトリエつくろ	村田直美	福祉のまちづくり	25,000
福祉のまちづくり	3022	人形劇団「星と海」	稻垣なつ子	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3023	介護を考えるぶどうの会	小形晴身	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3024	港北文庫のつどい	森田弘恵	福祉のまちづくり	30,000
福祉のまちづくり	3025	横浜港北おもちゃドクターの会	松田義二	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3026	ボランティア「ねこばす」グループ	杉本康希	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3028	日吉に子育てに関するネットワークを作る会	稻田奈津子	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3029	ちょうどよい暮らしの会	佐藤美香	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3030	えんがわの家 よってこ しもだ	増井佐緒里	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3031	ツチノコネット	中野律子	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3032	ポコ・ア・ポコ	中里遵子	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3033	日吉キッズステーション	神島理恵子	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3034	子どもの居場所を考える会	喜田美登里	福祉のまちづくり	30,000
福祉のまちづくり	3035	大曾根福祉まつり実行委員会	高橋紀夫	福祉のまちづくり	30,000
福祉のまちづくり	3036	ハンディを持つ人のためのミニフォーラム「咲良」	田辺恵子	福祉のまちづくり	30,000
福祉のまちづくり	3037	光輪	黒田道子	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3038	港北区子育て支援ボランティア「ポケット」	松田正樹	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3039	「地元を知ろう！太尾健康ウォーキング」実行委員会	天満尚二	福祉のまちづくり	30,000
福祉のまちづくり	3040	大倉山支えあい祭り実行委員会	植木貞雄	福祉のまちづくり	30,000
福祉のまちづくり	3041	音楽ボランティアフルール	山本真由美	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3042	ふれあい歌声の会	小林昭夫	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3043	生涯学習 グループ大地	河野雅人	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3044	篠原地区ボランティア連絡会	井上禮子	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3045	公園遊びの会わくわく	相原紗夢	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3046	港北子育て支援W.Coliぽけっと	古賀由美子	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3047	大倉山グローカルプロジェクト	小澤麻美	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3048	きくなぴょんぴょん	金子かおる	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3049	特定非営利活動法人精神保健を考える会まいんどくらぶ	渡邊久子	福祉のまちづくり	40,000
福祉のまちづくり	3050	ひよこの会	伊藤誉子	福祉のまちづくり	25,000
福祉のまちづくり	3051	克美企画	本間克之	福祉のまちづくり	40,000
要援護者支援	4001	仲手原南ボランティア夢クラブ	宮田紘子	集いの場	70,000
健康増進	4002	おまめアップチーム	小林忠男	健康増進	10,000
健康増進	4003	新吉田北部町内会「さわやか北部」	福島千代子	健康増進	10,000
健康増進	4004	シルバ一体操新吉田	堀内みゆき	健康増進	10,000
健康増進	4005	伸び伸びスターズ	江澤直人	健康増進	10,000
健康増進	4006	すみれのびのび体操	岡田徹	健康増進	10,000
健康増進	4007	健康体操クラブ	鮎田恵美子	健康増進	10,000
健康増進	4008	気楽会	中野満	健康増進	10,000
健康増進	4009	男の生活百科	山崎清悦	健康増進	10,000
健康増進	4010	大曾根男の料理教室	宮澤徹	健康増進	10,000
健康増進	4011	粋な男の体操サークル	伊藤博	健康増進	10,000
健康増進	4012	本町なでしこ会	豊田光雄	健康増進	10,000
健康増進	4013	ジャスミンの会	豊田千鶴子	健康増進	10,000
健康増進	4014	ウォーキングくらぶ たんぽぽ	小川誉郎	健康増進	10,000
健康増進	4015	堀崎体操教室	薄葉 忠	健康増進	10,000
健康増進	4016	あすなろ会	浜田千春	健康増進	10,000

港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金 配分団体一覧表

区分	番号	団体名	代表者	申込事業	助成金決定
健康増進	4017	ニューヘルス	柏木美代子	健康増進	10,000
健康増進	4018	シルバー健康体操宮前教室	阿部滋敏	健康増進	10,000
健康増進	4019	新羽はつらつストレッチ	青島幸子	健康増進	10,000
健康増進	4020	健康体操教室の会	野々山浩江	健康増進	10,000
港北区独自区分	5001	樽町地区計画推進委員会	小口照夫	1)イベント	100,000
港北区独自区分	5002	港北子育て懇談会	守屋玉恵	1)イベント	200,000
港北区独自区分	5003	親子コンサートプロジェクト	川原裕美子	1)イベント	200,000
港北区独自区分	5004	新吉田地区ふれあい動物園実行委員会	宮田房子	1)イベント	200,000
港北区独自区分	5005	港北区地域作業所連絡会	水越弘子	1)イベント	120,000
港北区独自区分	8001	わがまち篠原	川島武俊	4)地区別計画推進	90,000
港北区独自区分	8003	「ひっとプラン港北」新吉田地区推進委員会	小林辰雄	4)地区別計画推進	100,000
港北区独自区分	8007	ハートフル大曾根	高橋静明	4)地区別計画推進	50,000
港北区独自区分	8008	光と活力活動発表会実行委員会	片野芳昭	4)地区別計画推進	100,000
港北区独自区分	8009	ひっとプラン港北新羽地区推進委員会情報発信部会	望月俊一	4)地区別計画推進	80,000
港北区独自区分	8002-①	菊名地区ひっとプラン推進委員会	金子清隆	4)地区別計画推進	100,000
港北区独自区分	8004-①	大倉山地区社会福祉協議会(地域福祉保健計画推進委員会)	飯山精三	4)地区別計画推進	30,000
港北区独自区分	8004-②	大倉山地区社会福祉協議会(地域福祉保健計画推進委員会)	飯山精三	4)地区別計画推進	70,000
港北区独自区分	8005-①	たすけあうまち城郷推進委員会	高瀬勝	4)地区別計画推進	40,000
港北区独自区分	8005-②	たすけあうまち城郷推進委員会	高瀬勝	4)地区別計画推進	40,000
港北区独自区分	8006-①	「ひっとプラン港北」綱島地区計画推進員会	佐藤誠三	4)地区別計画推進	70,000
港北区独自区分	8006-②	「ひっとプラン港北」綱島地区計画推進員会	佐藤誠三	4)地区別計画推進	30,000
新規立上げ	9001	ふだん着絆	山崎郁夫	集いの場	40,000
新規立上げ	9002	レコードミュージックプラザ	川名利夫	集いの場	40,000
新規立上げ	9003	横浜ボッチャーズ	山寺由美子	障害児者支援	40,000
新規立上げ	9004	樽町なごみ食堂	奈良隆一	集いの場	40,000

平成30年度 善意銀行預託金状況

【金銭】

No	寄付日	寄付金額	寄付者
1	4月7日	50,000	横浜市港北区仏教会 会長村上宥真
2	4月20日	5,000	匿名
3	4月25日	50,000	横浜市立新田小学校 昭和二十三年度卒業生有志 代表 宮田眞之輔
4	5月18日	5,000	匿名
5	5月28日	20,770	ゆとりのカラオケ
6	6月12日	37,632	新都山流神奈川県支部
7	6月15日	133,162	匿名
8	6月20日	5,000	匿名
9	6月29日	36,250	港北三曲会
10	7月5日	10,000	匿名
11	7月15日	50,000	港北すみれの会
12	7月20日	5,000	匿名
13	8月20日	5,000	匿名
14	8月27日	1,200	太尾宮前町会
15	9月12日	30,000	港北すみれの会
16	9月20日	5,000	匿名
17	9月25日	32,169	港北芸能愛好会
18	10月10日	74,684	貴美会
19	10月22日	5,000	匿名
20	10月24日	50,000	匿名
21	11月5日	34,043	港北邦楽協会
22	11月8日	13,575	港北芸能協会
23	11月16日	10,000	視覚障害を理解する会
24	11月20日	10,000	港北三曲会
25	11月20日	5,000	匿名
26	11月21日	80,000	一般社団法人神奈川青色申告会
27	11月30日	58,255	菊名寿楽荘
28	11月30日	77	横浜市立中学校港北区個別支援学級
29	12月10日	10,000	フラ港北レフア
30	12月13日	10,000	PCIぱれっと
31	12月18日	18,500	表谷町内会
32	12月18日	100,000	匿名

33	12月19日	80,000	公益社団法人 神奈川法人会 女性部会
34	12月20日	5,000	匿名
35	12月25日	30,493	港北区老人クラブ連合会
36	12月25日	150,000	リーダー電子株式会社
37	1月21日	5,000	匿名
38	2月20日	5,000	匿名
39	2月20日	500,000	久保寺 豊子
40	2月27日	8,225	株式会社 イトーヨーカドー 労働組合 綱島支部
41	3月13日	70,000	横浜労働者福祉協議会 北部支部
42	3月20日	5,000	匿名
43	3月29日	59,229	横浜アリーナ
	合計	1,878,264	

【物品】

No	寄付日	寄付者	寄付物品
1	4月25日	木村敏子	女性用衣類・肌着、折り紙、毛糸
2	5月15日	アネスト岩田株式会社	空気入れ 2台
3	5月18日	竹蓋佳子	毛糸（アクリル）55玉

平成30年度 港北区社会福祉協議会決算概要

平成30年度決算については収入総額2億6,397万9,121円、支出総額2億443万7,680円でした。事業活動による収支差額は△88万6,601円となりました。その主な原因是共同募金配分金収入の減と諸謝金(ガイドボランティア等)、修繕費、業務委託費(区民意識調査、第三者評価)の増によるものです。また、遺贈物件を売却したことで施設整備等による収支差額は602万2,708円となりました。当期資金収支差額は513万6,107円。当期末支払資金残高は5,954万1,441円です。収入支出の内訳は、賛助会費、共同募金配分金が収入の51.8%、対する支出の51.7%を助成金が占め地区社協をはじめとする地域福祉活動の貴重な財源となっています。今後も新たな課題や法人運営の基盤強化、適正な運営に力を入れていきます。

資金収支計算書(P44)抜粋

(単位:円)

	収入①	支出②	収支差額③=①-②
事業活動による収支	102,573,787	103,460,388	△ 886,601
施設整備等による収支	7,000,000	977,292	6,022,708
その他の活動による収支	100,000,000	100,000,000	0
当期資金収支差額(小計)	209,573,787	204,437,680	5,136,107
前期支払資金残高	54,405,334	—	54,405,334
合 計	263,979,121	204,437,680	59,541,441

A 収入の内訳

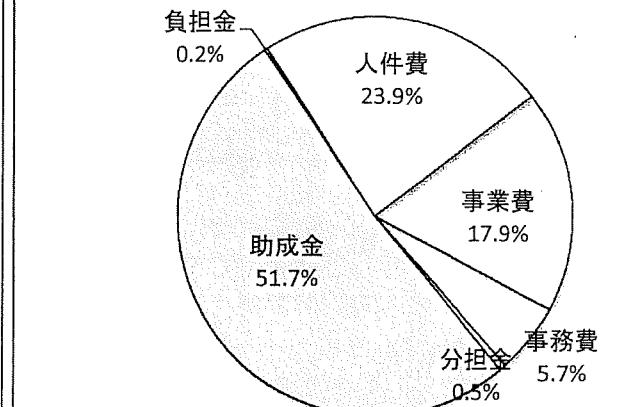
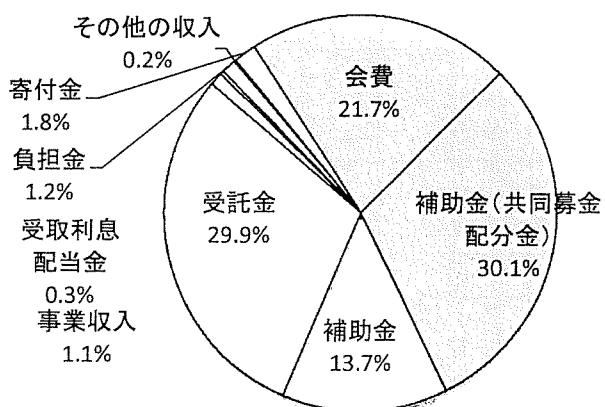
(単位:円)

会費収入	22,304,340
寄付金収入	1,878,264
経常経費補助金収入	44,963,523
受託金収入	30,646,771
事業収入	1,108,710
負担金収入	1,216,153
受取利息配当金収入	299,422
その他の収入	156,604
合 計	102,573,787

B 支出の内訳

(単位:円)

人件費支出	24,681,111
事業費支出	18,560,734
事務費支出	5,932,457
分担金支出	553,134
助成金支出	53,485,702
負担金支出	247,250
合 計	103,460,388



C 区分(事業別)毎の内訳

(単位:円)

区分	収入①	支出②	収支差額③=①-②
法人運営	27,255,476	14,875,126	12,380,350
ボランティアセンター事業	211,800	368,591	△ 156,791
地区社協活動支援事業	650,000	15,050,958	△ 14,400,958
福祉保健活動拠点運営	16,264,097	15,670,502	593,595
共同募金配分事業	30,904,147	31,295,924	△ 391,777
善意銀行運営	1,878,264	0	1,878,264
送迎サービス事業	3,676,222	4,411,426	△ 735,204
移動情報センター事業	8,899,853	8,449,078	450,775
権利擁護事業	652,610	585,751	66,859
地域福祉推進事業	282,000	289,136	△ 7,136
みんなの助成金配分事業	11,599,896	12,463,896	△ 864,000
福祉基金	299,422	0	299,422
合 計	102,573,787	103,460,388	△ 886,601

平成30年度 資金収支計算書総括表

区分 (事業 計)	事業活動による収支 (日常的な資金の収支)		施設整備等による収支 (固定資産物品の購入などの收 支)		その他の活動による収支 (基金積立金や借入金などの収支)		当期資金収支 差額①=③+ ⑥+⑨-⑪ (今年度の予 算残額)	前期末支払資 金残高⑫ (前年度から の繰越金)	当期末支払資 金残高⑬ (来年度へ 繰越金)	
	収入①	支出②	収支差額③=①-②	収入④	支出⑤	収支差額⑥ =④-⑤	収入⑦	支出⑧	収支差額⑨ =⑦-⑧	予 備 費 ⑩
法人運営	27,255,476	14,875,126	12,380,350	7,000,000	666,144	6,333,856	857,782	14,863,600	-14,005,818	0
ボランティアセンター事業	211,800	368,591	-156,791	0	0	0	190,000	0	33,209	4,708,388
地区協活動支援事業	650,000	15,050,958	-14,400,958	0	0	0	14,400,958	0	0	15,033,529
福祉保健活動拠点運営	16,264,097	15,670,502	593,595	0	0	0	0	0	0	19,741,91
共同募金配分事業	30,904,147	31,295,924	-391,777	0	311,148	-311,148	81,148	0	81,148	2,094,846
善意銀行運営	1,878,264	0	1,878,264	0	0	0	0	1,548,360	-1,548,360	0
送迎サービス事業	3,676,222	4,411,426	-735,204	0	0	0	1,320,000	1,000,000	320,000	5,124,909
移動情報センター運営事業	8,899,853	8,449,078	450,775	0	0	0	0	0	0	5,121,586
権利擁護事業	652,610	585,751	66,859	0	0	0	0	0	0	2,572,31
地域福祉推進事業	282,000	289,136	-7,136	0	0	0	61,494	0	61,494	1,904,21
みんなの助成金配分事業	11,599,896	12,463,896	-864,000	0	0	0	800,000	0	800,000	1,944,21
福祉基金	299,422	0	299,422	0	0	0	100,000,000	100,299,422	-299,422	0
合計	102,573,787	103,460,388	△886,601	7,000,000	977,292	6,022,708	117,711,382	117,711,382	0	5,136,107
										54,405,334
										59,541,4

(単位:円)

法人単位貸借対照表

平成31年03月31日現在

法人: 社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業: 法人全体1 / 1
(単位: 円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	65,812,324	61,884,693	3,927,631	流動負債	6,270,883	7,479,359	△1,208,476
現金預金	63,707,994	61,003,536	2,704,458	事業未払金	4,719,009	1,046,006	3,673,003
事業未収金	80,060	48,930	31,130	その他の未払金	1,548,360	1,833,430	△285,070
未収金	1,648,360	509,763	1,138,597	未払費用	3,514	4,599,923	△4,596,409
未収収益	18,696	1,126	17,570	預り金	0	0	0
前払金	3,650	21,710	△18,060	負債の部合計	6,270,883	7,479,359	△1,208,476
前払費用	353,564	299,628	53,936	純資産の部			
仮払金	0	0	0	基本金	3,000,000	3,000,000	0
固定資産	227,888,928	237,374,448	△9,485,520	国庫補助金等特別積立金	727,835	799,000	△71,165
基本財産	3,000,000	3,000,000	0	その他の積立金	222,940,021	222,940,021	0
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	社会福祉事業基金積立金	222,940,021	222,940,021	0
その他の固定資産	224,888,928	234,374,448	△9,485,520	次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	60,762,513	65,040,761	△4,278,248
建物	0	9,716,315	△9,716,315		△4,278,248	379,262	△4,657,510
車両運搬具	690,730	1,152,134	△461,404				
器具及び備品	1,233,097	540,898	692,199				
社会福祉事業基金積立資産	222,940,021	222,940,021	0				
その他の固定資産	25,080	25,080	0	純資産の部合計	287,430,369	291,779,782	△4,349,413
資産の部合計	293,701,252	299,259,141	△5,557,889	負債及び純資産の部合計	293,701,252	299,259,141	△5,557,889

計算書類に対する注記(法人全体用)

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券等

償却原価法（定額法）による。

②上記以外の有価証券で時価のあるもの

決算日の市場価格に基づく時価法による。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

定額法による減価償却を実施している。

②無形固定資産（リース資産を除く）

残存価額を0円とした定額法による減価償却を実施している。

③リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を0円とする定額法による。

(3) 消費税等の会計処理

当法人は、消費税等の会計処理として、税込方式による。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

該当なし

5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の財務諸表(第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

(2) 事業区分別内訳表(第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)

当法人では、社会福祉事業のみであるため作成していない。

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、拠点が一つのため作成していない。

(4) 公益事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、公益事業を実施していないため作成していない。

- (5) 収益事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。
- (6) 法人運営及び区社協実施事業拠点計算書類(第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。
- (7) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
- (8) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
- (9) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 法人運営及び区社協実施事業拠点(社会福祉事業)

法人運営

ボランティアセンター事業

地区社協活動支援事業

福祉保健活動拠点運営

共同募金配分事業

善意銀行運営

送迎サービス事業

移動情報センター事業

権利擁護事業

地域福祉活動推進事業

みんなの助成金配分事業

福祉基金

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	3,000,000	0	0	3,000,000

7. 基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

移送車購入に伴い国庫補助金等特別積立基金282,000円を取崩した。

8. 担保に供している資産

該当なし

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	4,501,636	3,810,906	690,730
器具及び備品	4,403,862	3,113,402	1,290,461
合計	8,905,498	6,924,308	1,981,191

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益以下のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
横浜市平成27年度第3回「ハマ債5」公債	20,000,000	19,943,480	-56,520
神奈川県第230回公募公債	50,000,000	50,848,200	848,200
神奈川県第232回公募公債	50,000,000	50,737,300	737,300
神奈川県第232回公募公債	50,000,000	50,737,300	737,300
合計	170,000,000	172,266,280	2,266,280

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

12. 重要な偶発債務

該当なし

13. 重要な後発事象

該当なし

14. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

財産目録
平成31年03月31日現在

法 人:社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事 案:法人全体

(単位:円)									
貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額			
I 資産の部									
1 流動資産									
現金預金		—		—	—	63,707,994			
現金	現金手許有高	—	運転資金として	—	—	43,450			
小口現金		—		—	—	0			
小口現金(一般)		—		—	—	0			
小口現金(共募)		—		—	—	0			
その他の現金		—		—	—	43,450			
その他の現金		—		—	—	43,450			
預貯金		—		—	—	63,664,544			
普通預金		—		—	—	63,664,544			
1 普通預金(一般)	川崎信用金庫	—	運転資金として	—	—	8,650,930			
2 普通預金(共募)	川崎信用金庫	—	運転資金として	—	—	18,468,989			
3 普通預金(善銀)	川崎信用金庫	—	運転資金として	—	—	8,313,459			
4 振替口座(一般)	大倉山郵便局	—	振替口座として	—	—	2,212,706			
5 普通預金(生福金)	川崎信用金庫	—		—	—	0			
7 振替口座(世帯会費)	大倉山郵便局	—	振替口座として	—	—	8,012,922			
8 振替口座(賛助会費)	大倉山郵便局	—	振替口座として	—	—	18,005,538			
事業未収金	川崎信用金庫	—	あんしんセンター利用料	—	—	80,060			
未収金		—		—	—	1,648,360			
未収収益		—	日赤負担分	—	—	18,696			
前払金		—		—	—	3,650			
前払費用		—	法人運営・ガイドボランティア保険料	—	—	353,564			
仮払金		—		—	—	0			
流動資産合計				65,812,324					
2 固定資産									
(1) 基本財産									
定期預金	川崎信用金庫	—	法人運営として	0	0	3,000,000			
基本財産特定預金		—		0	0	3,000,000			
定期預金(基本財産)		—	基本財産として	0	0	3,000,000			
基本財産合計				3,000,000					
(2) その他の固定資産									
車両運搬具	日産セレナ他2台	—	送迎/外出支援サービス 地域福祉推進	4,501,636	3,810,906	690,730			
器具及び備品	紙折り機他	—	法人運営業務に使用	4,403,862	3,170,765	1,233,097			
社会福祉事業基金積立資産		—		0	0	222,940,021			
普通預金(一般①)		—		0	0	15,912,639			
普通預金(一般②)		—		0	0	37,027,382			
国内公社債(横浜市平成27年度第3回ハマ債5)	野村證券	—	みんなの助成金、身近な地域のつながり支えあい活動推進事業、地区社協活動・小地域活動の支援を推進するための原資	0	0	20,000,000			
神奈川県第230回公募公債	野村證券	—	みんなの助成金、身近な地域のつながり支えあい活動推進事業、地区社協活動・小地域活動の支援を推進するための原資	0	0	50,000,000			
神奈川県第232回公募公債	野村證券	—	みんなの助成金、身近な地域のつながり支えあい活動推進事業、地区社協活動・小地域活動の支援を推進するための原資	0	0	50,000,000			
神奈川県第232回公募公債	みずほ證券	—	みんなの助成金、身近な地域のつながり支えあい活動推進事業、地区社協活動・小地域活動の支援を推進するための原資	0	0	50,000,000			
その他の固定資産	リサイクル料預け金	—	移送車リサイクル料として	0	0	25,080			
その他の固定資産合計				224,888,928					
固定資産合計				227,888,928					
資産合計				293,701,252					
II 負債の部									
1 流動負債									
事業未払金		—	保守・業務委託費	—	—	4,719,009			
その他の未払金		—		—	—	1,548,360			
未払費用		—	人件費・事務費	—	—	3,514			
預り金		—		—	—	0			
流動負債合計				6,270,883					
固定負債合計				0					
負債合計				6,270,883					
差引純資産				287,430,369					

(記載上の留意事項)

- 土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- 同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- 科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- 「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- 「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- 建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- 減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- 車両運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車両番号は任意記載とする。
- 預金に関する口座番号は任意記載とする。

監査報告書

令和元年 5月 28日

社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会
会長 飯山 精三 様

監事 永野和子印

監事 秋元秀臣印

監事 参鍋健一郎印

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上のことにより、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。